

台風説明会資料

平成28年 台風第12号

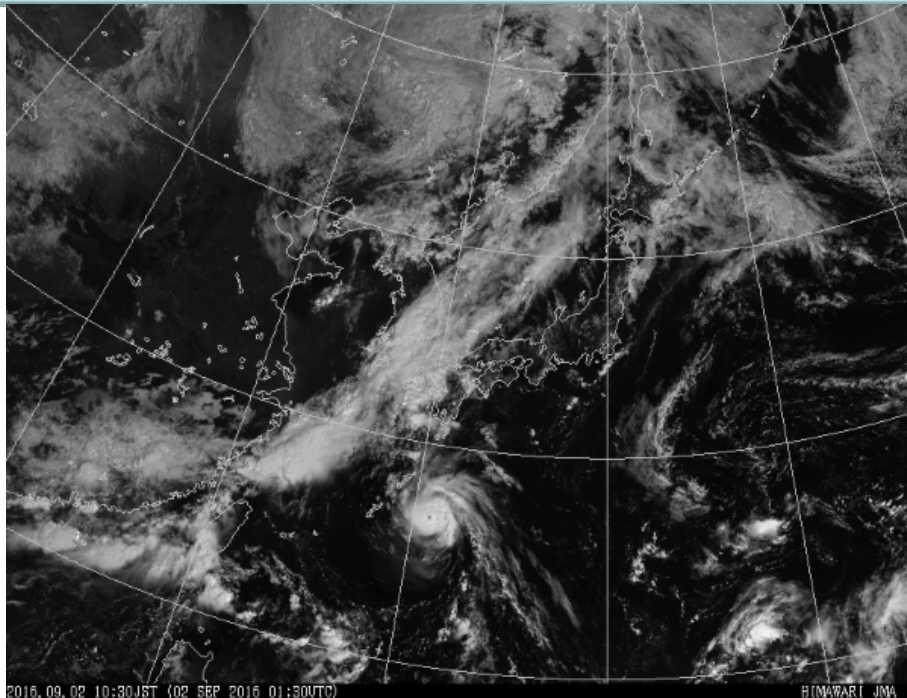
平成28年9月2日

鳥取地方気象台

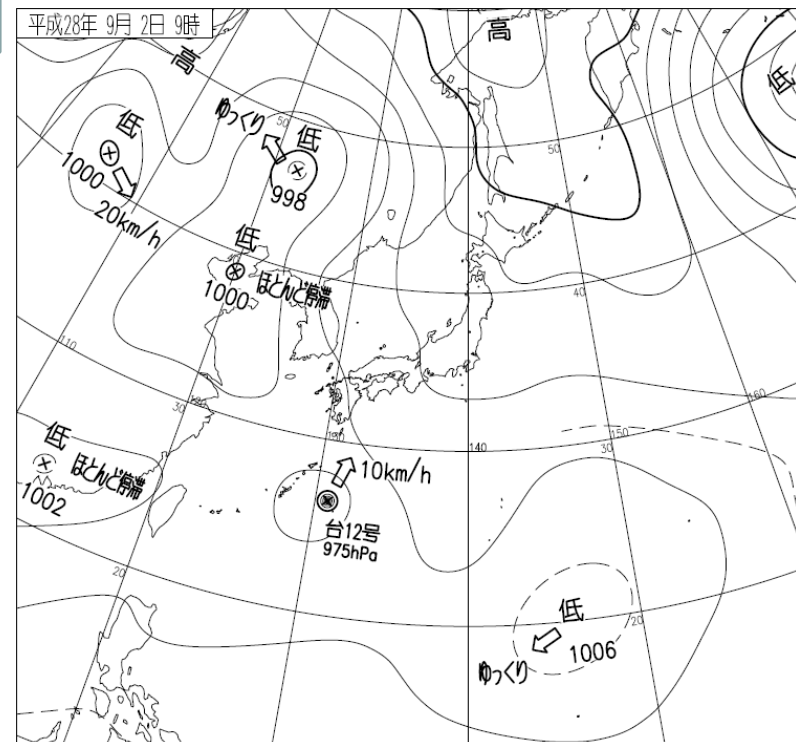
衛星画像と地上天気図

4日は、台風北上に伴い、風・波が次第に強まり、雨が降る見込み
5日は、台風の接近・通過により急激に雨・風・波が強まるおそれ

台風第12号の特徴：勢力は強いが
水平スケールが小さく、コンパクト

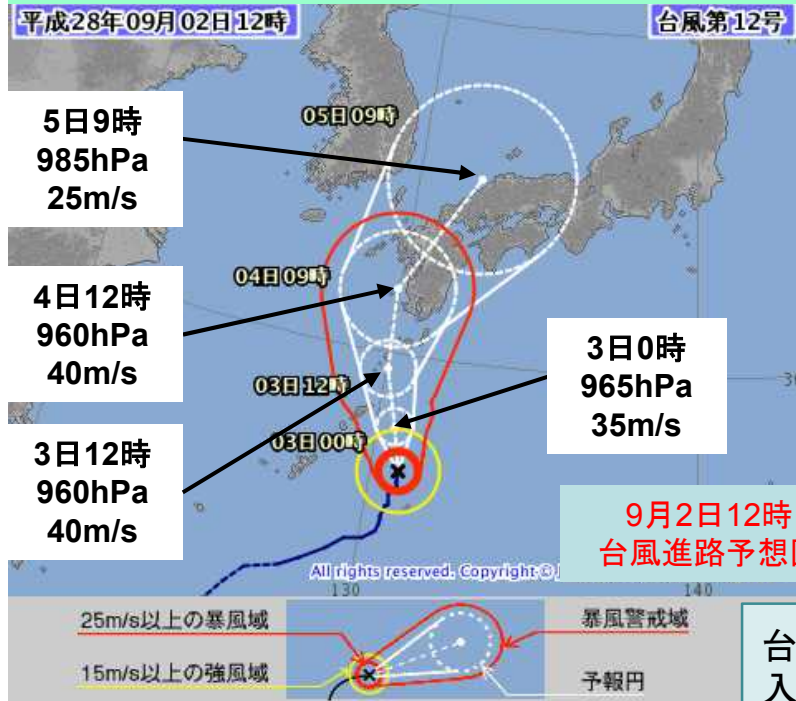


9月2日09時 可視画像



9月2日9時速報地上天気図

台風経路図 (9月2日12時観測と予想)



台風が中心が予報円に入る確率は70%です。

台風第12号 (ナムセーウン)

<2日12時の実況>

大きさ —

強さ 強い

存在地域 南大東島の北北西約220km

中心位置 北緯 26度50分(26.8度)

東経 130度50分(130.8度)

進行方向、速さ 北 15km/h(8kt)

中心気圧 965hPa

中心付近の最大風速 35m/s(70kt)

最大瞬間風速 50m/s(100kt)

25m/s以上の暴風域 全域 60km(30NM)

15m/s以上の強風域 全域 130km(70NM)

<3日12時の予報>

強さ 強い

存在地域 屋久島の南南西約90km

予報円の中心 北緯 29度35分(30.9度)

東経 134度10分(134.2度)

進行方向、速さ 北北西 20km/h(10kt)

中心気圧 960hPa

中心付近の最大風速 40m/s(75kt)

最大瞬間風速 55m/s(105kt)

予報円の半径 90km(50NM)

暴風警戒域 全域 170km(90NM)

直近の台風位置や暴風警戒域等は、
気象庁HPをご利用下さい

<http://www.jma.go.jp/jp/typh/>

(トップ画面 台風情報)

日本付近の海面水温

平成28年8月31日

2016 ▾ 年
8 ▾ 月 31 ▾ 日

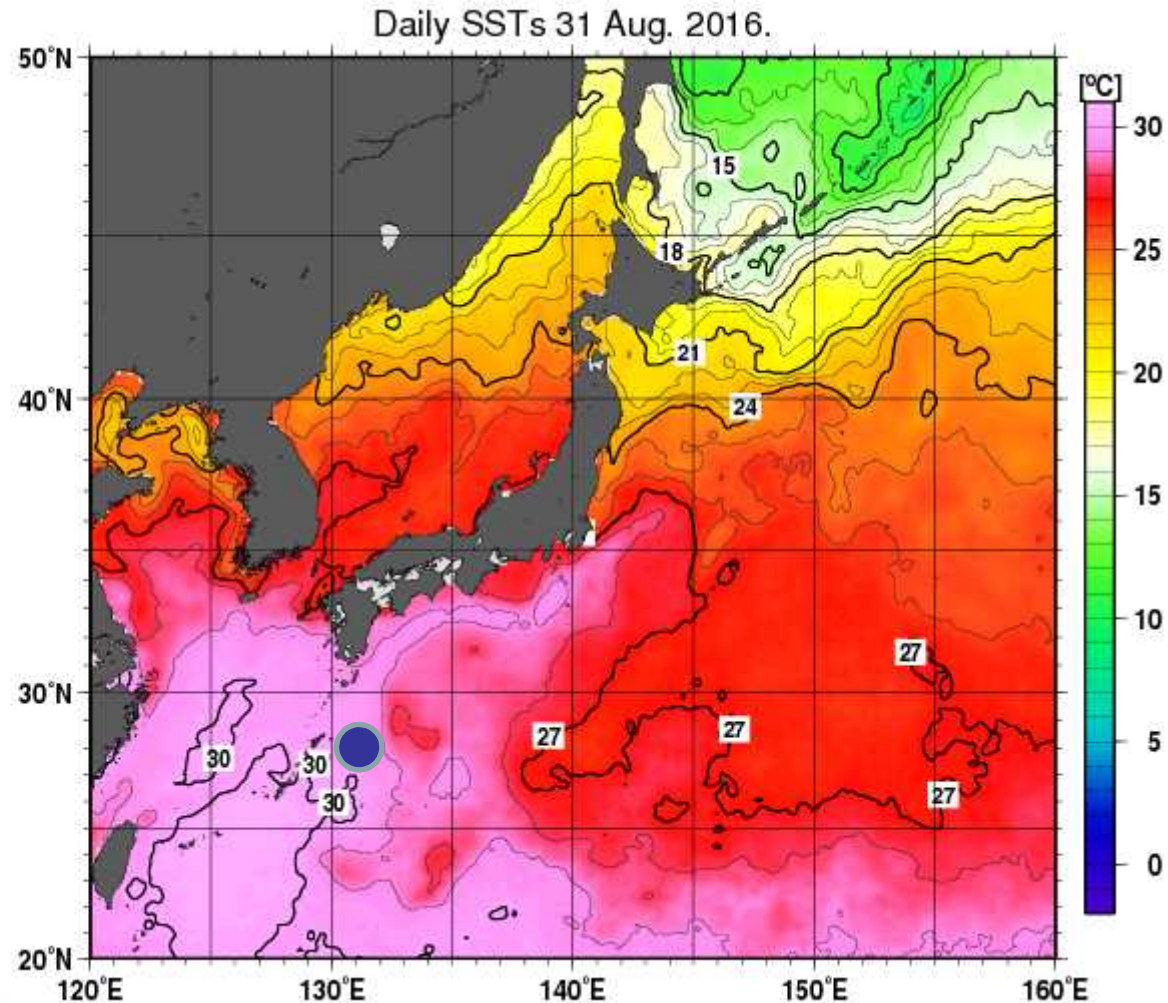
表示

<< < > >>

日本近海 ▾ 海域

● 海面水温
○ 平年差

他の要素へ
海流 表層水温



台風第12号は、海面水温の高い海上を通過する見込みで、勢力を増しながら九州地方に接近し、その後中国地方に接近する見込み

今回の台風第12号の影響

- 台風は勢力を増して九州に接近し、その後中国地方に接近する予想。台風進路予想の中心コースを進む場合、**5日昼前には鳥取県に最も接近**し、風・波が強まり、大雨となるおそれがあります。
- 台風が中心コースを進む場合、鳥取県は**5日明け方に強風域に入る**が暴風域には入らない予想。ただし、台風の中心では25m/s前後の暴風となっているため、台風の中心が鳥取県を通過する場合は、**暴風となるおそれ**があり警戒が必要です。
- 特に、台風本体が鳥取県に接近した場合、台風本体の発達した雨雲により**局地的に非常に激しい雨が降る**おそれがあります。
- 潮位は、台風の接近時および日本海の北緯40度線付近に台風が進んだ時に**高潮と**なる**可能性**があります。(5日～7日)
- このため、低地の浸水や河川の増水、土砂災害、強風、高波、高潮に注意が必要です。

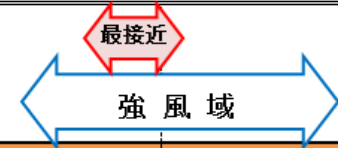
台風に伴う防災事項【中央コース】

(9月2日12時現在)

9月2日 12時現在の予想【中央コース】

鳥取地方気象台 作成

| | 9月2日 | | | | 9月3日 | | | | | | | | 9月4日 | | 9月5日 | |
|--------|------|----|--------|-----|------|-----|---|----|-----|----|--------|-----|------|----|------|--|
| | 15 | 18 | 21 | | 3 | 6 | 9 | 12 | 15 | 18 | 21 | | | 午前 | 午後 | |
| | 昼過ぎ | 夕方 | 夜のはじめ頃 | 夜遅く | 未明 | 明け方 | 朝 | 昼前 | 昼過ぎ | 夕方 | 夜のはじめ頃 | 夜遅く | | | | |
| 気象的要因 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大雨 | 土砂災害 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 浸水害 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 洪水 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 強風(暴風) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 波浪 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高潮 | | | | | | | | | | | | | | | | |





<防災事項>

強風、高波、低地の浸水、河川の増水、土砂災害、高潮に注意

警報・注意報は、基準を超える現象が発現するのに先立って発表されます。

気象台では、常に最新の資料と実況により適切な防災シナリオを検討しています。今後、最新の台風情報および、気象台が発表する最新の防災気象情報をご利用ください。

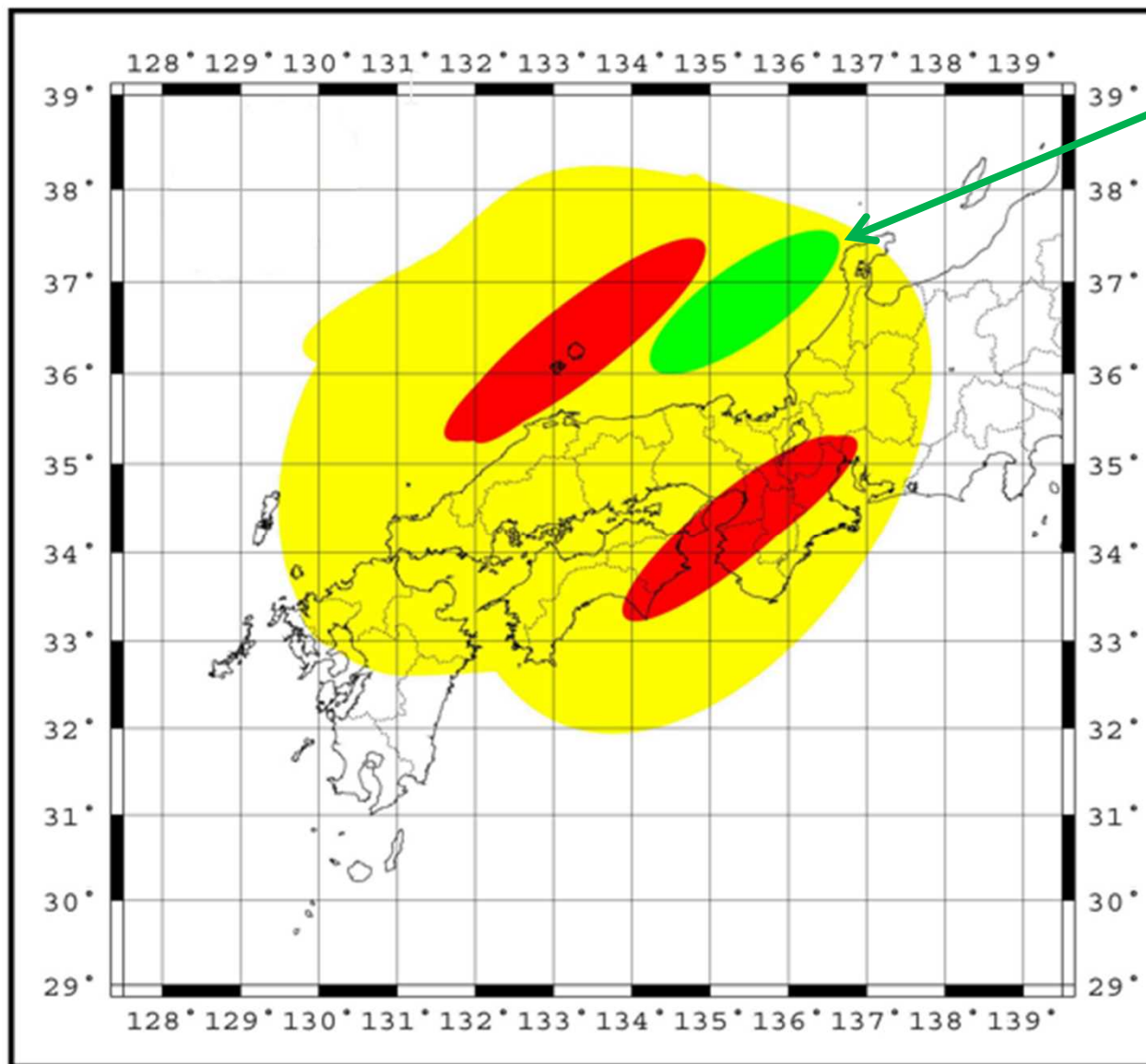
 : 注意を要する時間帯

 : 警戒を要する時間帯

最新の防災情報については、鳥取地方気象台(0857-29-1311)へお問い合わせください。

參考資料

【参考】強風観測時の台風の中心位置

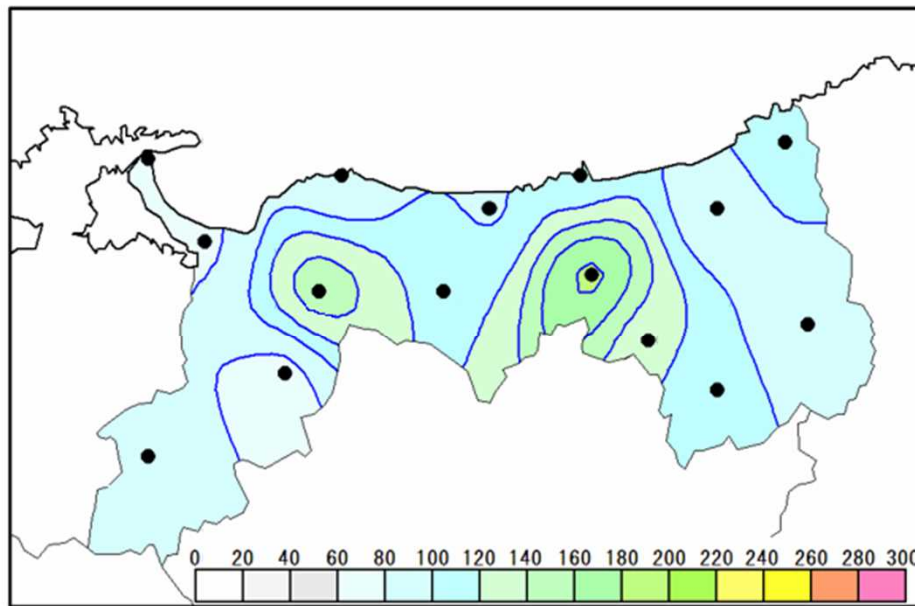


吹き返しによる強風

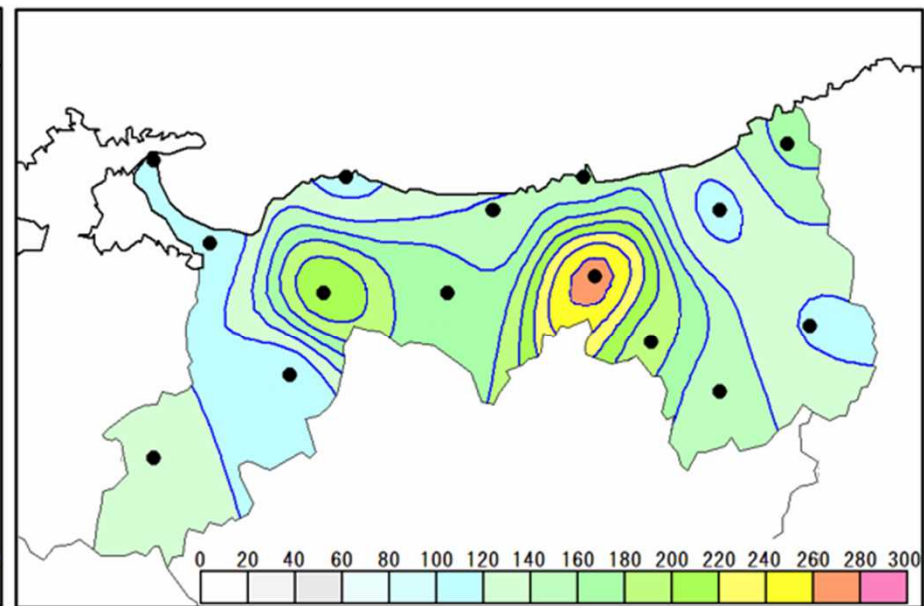
黄色 : 10m/s

赤色 : 15m/s

【参考】鳥取県の東側を通過する台風の特徴



平均降水量分布（東側通過）

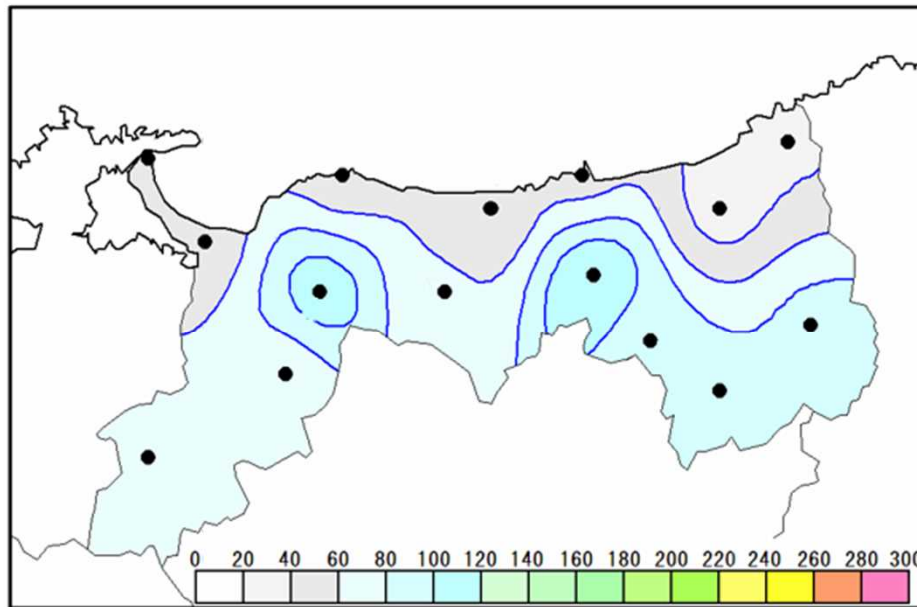


災害発生時平均降水量分布（東側通過）

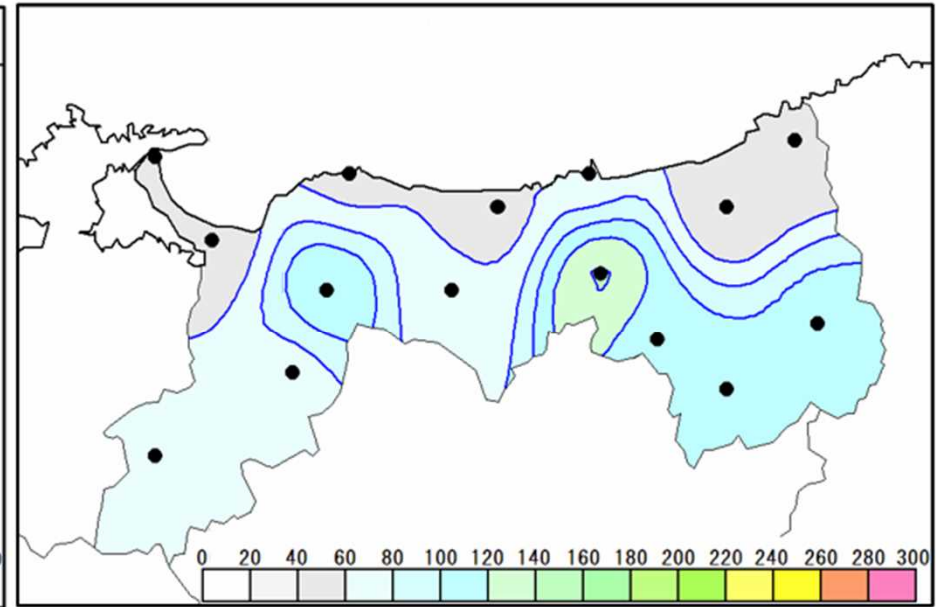


- 「雨」県内全般に大雨をもたらす。
特に北東斜面の降水量が多くなる
- 「風」風向は北東 → 北 → 北西と反時計回りに変化し、北寄りの強風が長時間続く

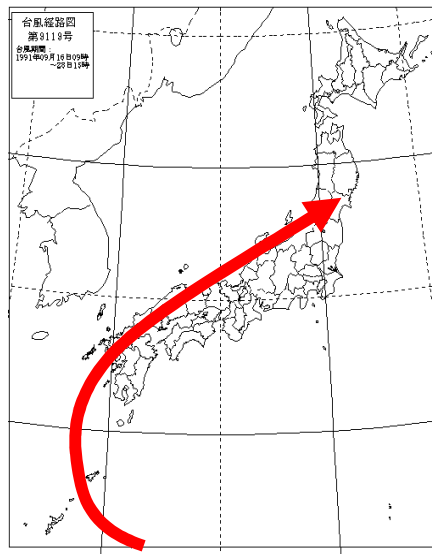
【参考】鳥取県を通過する台風の特性



平均降水量分布（県内通過）

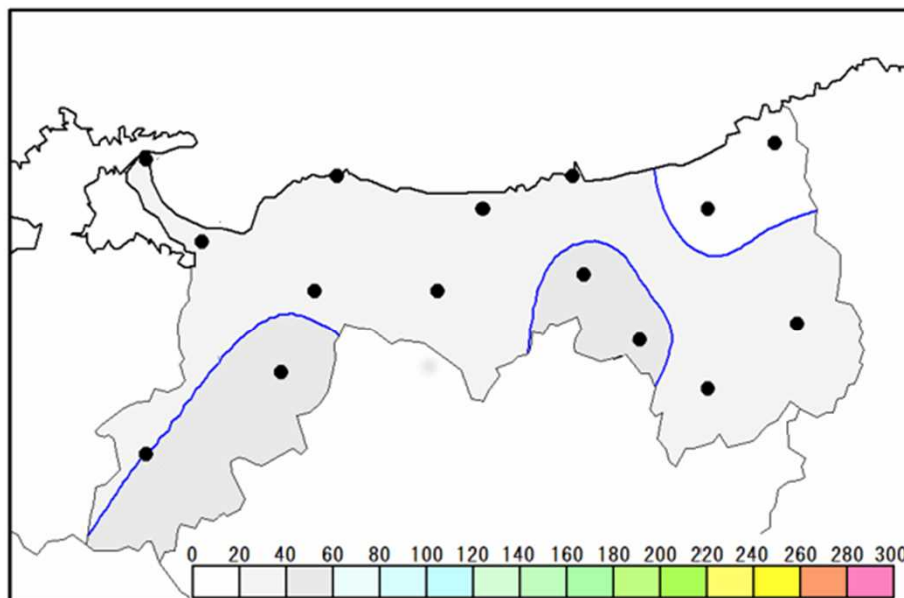


災害発生時平均降水量分布（県内通過）

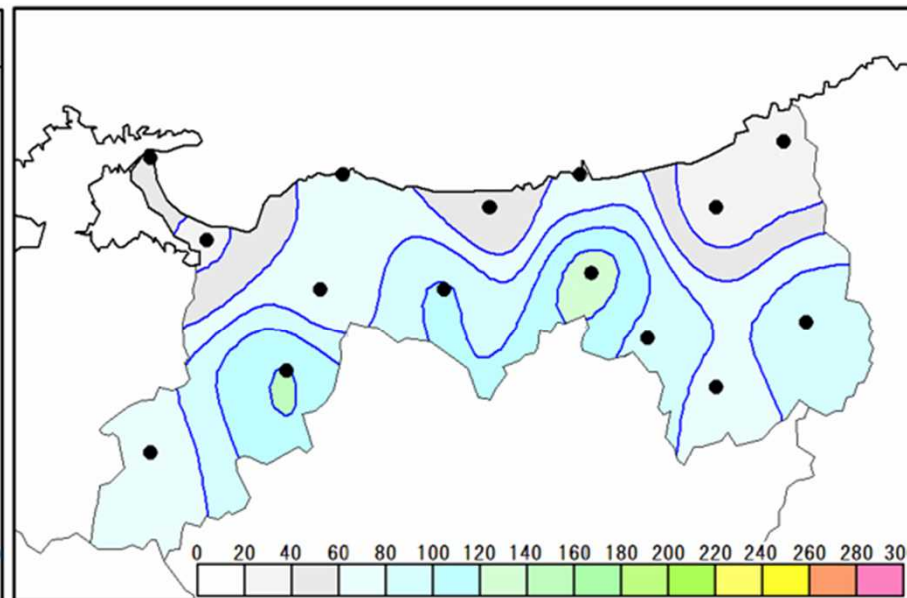


- ・「雨」県内全般に大雨をもたらす
- ・「風」台風通過前後で急に強まる。通過までは南から東風の強風、通過後は吹き返しによる北から西風の強風

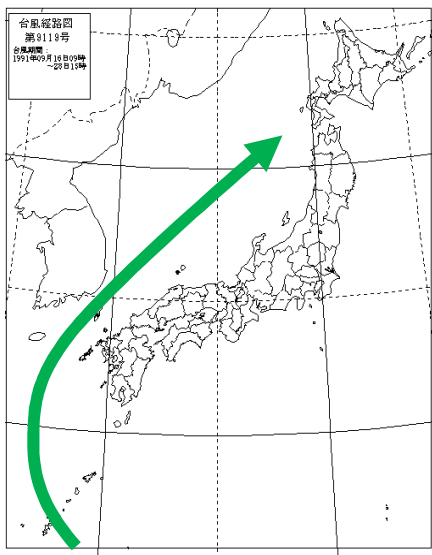
【参考】鳥取県の西側を通過する台風の特性



平均降水量分布（西側通過）

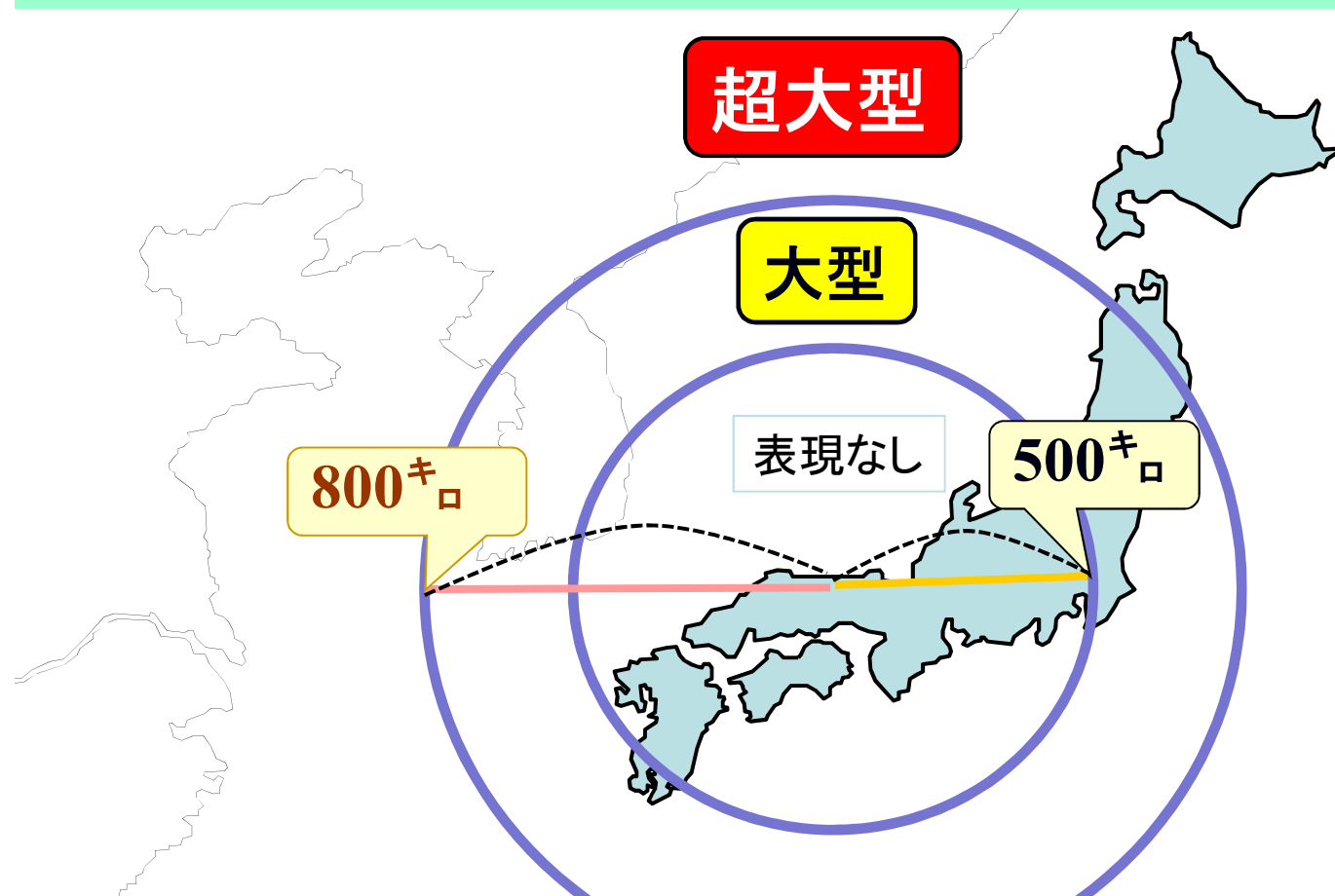


災害発生時平均降水量分布（西側通過）



- 「雨」山地中心に大雨
- 「風」南風の強風の継続時間が長い
- 「高潮」日本海を北上する場合に高くなり、北緯40度付近で最大値が出現

【参考】台風の大きさについて



| 表現 | 風速15メートル以上の半径 |
|-------------|----------------|
| (表現無し) | 500km未満 |
| 大型(大きい) | 500km以上800km未満 |
| 超大型(非常に大きい) | 800km以上 |

【参考】台風の強さについて

中心付近の**最大風速**で決定

10分間平均風速の最大値

<風速> <階級分け>

54m/s

猛烈な

44m/s

非常に強い

33m/s

強い

(表現無し)

50m/s ⇒ **時速180km**

風の強さと吹き方

(平成12年6月作成) (平成14年1月一部改正)
(平成19年4月一部改正) (平成25年3月一部改正)

| 平均風速 (m/s) おおよその呼称 | 風の強さ (予報用語) | 速さの目安 | 人への影響 | 屋外・樹木の様子 | 走行中の車 | 建築物 | おおよその 瞬間風速(m/s) |
|--------------------------|----------------|----------|--|---|---------------------------------------|--|-------------------------------|
| 10~15 ~約50km/h | やや強い風 | 一般道路の自動車 | 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 | 樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。 | 道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。 | 構(と)いが揺れ始める。 | 20 |
| 15~20 ~約70km/h | 強い風 | | 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 | 電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。 | 高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。 | 屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。 | |
| 20~25 ~約90km/h | 非常に強い風 | 高速道路の自動車 | 何かがつかまっていけないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。 | 細い木の幹が折れたり、根の強くない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が壊れる。 | 通常の速度で運転するのが困難になる。 | 屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。 | 30 |
| 25~30 ~約110km/h | | | | | | | 40 |
| 30~35 ~約125km/h | | | | | | | 50 |
| 35~40 ~約140km/h | 猛烈な風 | 特急電車 | 屋外での行動は極めて危険。 | 多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。 | 走行中のトラックが横転する。 | 固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が脱落する。 | 60 |
| 40~ ~約140km/h | | | | | | 外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。 | 住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。 |